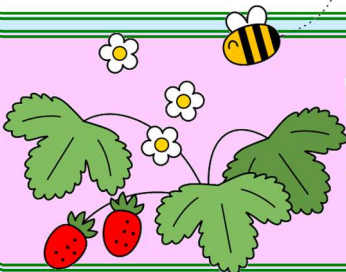


公民館だより5月号

発行/大詫間公民館

大詫間の人口(令和8年3月末現在)
1,404人(前月比-1) 563世帯(前月比±0)
男 712人(前月比±0) 女 693人(前月比-1)



〒840-2211
佐賀市川副町大字大詫間 560 番地 1
電話・FAX 0952-45-4480
Email koodakuma@city.saga.lg.jp

地域・学びのサポート②

「偏ってはいませんか？ あなたの家の介護」

身近な出来事をもとにした寸劇とわかりやすい講話で、家庭や介護のことを気軽に考えてみませんか。

どなたでもお気軽にご参加ください。



日時 5月14日(木) 10:00~11:30
場所 大詫間公民館 大会議室
講師 佐賀市社会人権・同和教育指導員
市男女共同参画ネットワーク”結い”の皆さん
参加費 無料 事前申込不要

春の園芸教室

園芸の基礎を学んだあと、花壇づくりと寄せ植え体験をします。

春の花から初夏の花へと移ろうこの季節、色とりどりの花々に囲まれながら、園芸の楽しさを体験してみませんか？



日時 5月13日(水) 10:00~12:00
場所 大詫間公民館 大会議室
講師 中川 達也 先生(緑のカウンセラー)
参加費 材料費1,200円(当日持参)
※鉢を持参の方は1苗プレゼント
申込み 5月11日までに公民館にご連絡下さい

5月予定表



※予定は変更・中止する場合があります

日	月	火	水	木	金	土
5月の休館日を変更します 5月17日(日)は「ら・かんぱねら自主上映会inKAWASOE」開催のため、休館日を変更しますのでご注意ください。 【変更前】5月17日(日) → 【変更後】5月10日(日)					1 健康麻雀	2
3 【憲法記念日】	4 【みどりの日】	5 【こどもの日】 にこにこ運動教室	6 【振替休日】	7	8 自治会長会 健康麻雀	9
10 【休館日】	11 まち協本部役員会 元気アップ教室	12 にこにこ運動教室 夢の島プロジェクト ブーカス号 14:00~14:50	13 春の園芸教室 GB 愛好会 つばき会	14 地域・学びのサポート ときわ会	15 健康麻雀	16 浮立保存会総会 まち協総会 ブーカス号 15:10~16:00
17 「ら・かんぱねら」自主上映会	18 GG役員会 元気アップ教室	19 にこにこ運動教室	20 GG 愛好会 ももの会	21	22 健康麻雀 健康福祉部会	23 大小運動会
24	25 元気アップ教室	26 にこにこ運動教室	27 つばき会	28 大詫間小PTA	29 健康麻雀	30
31						

令和8年度 大詫間自治会長会の紹介(※敬称略)

今年度の自治会長の皆さんです。どうぞよろしくお願いいたします



6区	7区(会計)	8区(副会長)	9区(会長)	10区
ふくおか けいし 福岡 慶司	やまぐち たかのり 山口 孝則	やまぐち まさひこ 山口 正彦	はせがわ さだむ 長谷川 定	やまぐち ひろゆき 山口 広行

1区	2区	3区	4区北	4区南	5区
しもむら はやと 下村 勇人	やまだ きふみ 山田 基文	つげ せいゆう 柘 静雄	くりさき さだひろ 栗崎 貞浩	いしだ よしひろ 石田 義弘	やまだ たかし 山田 崇

公民館主催・共催事業と地域行事等のご報告

地域・学びのサポート 第1回 4月9日開催

健康運動指導士の三谷誠先生をお招きし、「気軽にできる介護予防運動」のテーマで開催しました。シルバー川柳の穴埋めクイズや、毎日の生活に役立つ健康づくりのポイントについて話がありました。続いて脳トレを取り入れた手の動きのトレーニングなどで体を動かしました。



絆ウォーク写真展 5月9日まで

フリースペースで、3月14日(土)に行われた『第6回絆ウォーク』の写真を展示しています。すでに多くの皆さまにご来場いただいています。当日の楽しい様子や感動の瞬間もたくさん写っていますので、ぜひじっくりご覧ください。お気に入りの写真は焼き増しもしますので、皆さんお気軽に見に来てください。



第61回

私と大詫間

～大詫間への想い 思い出等について～

地域の方から大詫間への想いや小さい頃の思い出などをお寄せいただく『私と大詫間』シリーズです。



第61回目は…
福岡 直昭さん
(大6区)

大詫間の農業用水

佐賀東部水道企業団では、昨年9月から筑後川流域では少雨が続いているため、水源である江川・寺内ダムの貯水率が低下しており、このまま少雨が続けば水道水の確保が厳しい状況になることが予想されるので節水をお願いされています。(企業団だより令和8年春号)

4月、5月と少雨が続けば、大詫間地区の代掻き用水が確保出来るか心配しています。

高校を卒業した昭和42年は干ばつ年で、クリークの溜まり水をポンプやごみ桶で汲んで廻ったことを思い出しています。

県営圃場整備事業が昭和44年度から、早津江川からのアオ取水位置を海路端(通称;百馬力)から大野島の乾角(いぬいずみ)に移した県営かんがい排水事業が昭和45年から始まったのも、度々の干ばつや水不足に悩まされたことによるものと思っています。

特に、鳥栖農林事務所に勤務していた平成6年は大干ばつで管内のアオ取水状況の調査に駆けずり回り、大詫間では筑後大堰の利水容量約900千 m^3 の放流要望があったため、筑後大堰上流部から農業用水を取水している土地改良区等に河川水位が下がることについて了解を頂きに出向いて行ったこと、また、この年は佐賀商業高校が全国高校野球大会で優勝したことで、忘れない年になりました。

筑後川両岸地域のアオ取水を筑後大堰地点に合口を目的の一つとした国営土地改良事業筑後川下流地区が昭和51年12月に計画確定し、内佐賀東部導水路、大詫間幹線水路等が 昭和56年10月に水資源開発公団(現在、水資源機構)に引き継がれ事業が行われました。

平成5年4月から4年間は鳥栖農林事務所に勤務し、筑後川土地改良事業に関わるアオの切り替え同意など事業推進のため地元説明に出向きましたが北茂安町、三根町ではアオ取水が容易なことから、なかなか理解していただけなかったことを思い出します。

特に、平成8年5月の筑後川からの取水(試験通水開始)にあたっては、佐賀揚水機場で取水遮断のための角落しの撤去、吐水槽上部から取水の確認を行ったこと、たくさんの報道機関が来られていたことを憶えています。

平成21年3月に県を退職し、平成21年4月から6年間の筑後川土地改良事業推進協議会に勤務し、湯水の都度、筑後川用水管理所において福岡県協議会との取水調整のため会議に臨みましたが、筑後川の流況が良くないと両県での水の取り合いになったことを記憶しています。

現在、大詫間の農業用水は、筑後大堰上流(豆津橋上流)から取水されており、干ばつに見舞われることもほとんどなくなりました。しかし、平成8年5月の試験通水以前はアオ取水であったため、先人たちは大変な苦勞の連続であったことを知って頂きたいと思います。

※アオ取水:有明海の干満差を利用し、満潮時に海水の上に押し上げられた淡水(アオ)をクリークに引き入れて農業用水として利用する取水方法。

川副集団健診のお知らせ

※川副支所では予約できません

※特定健診予約の際には、お手元に保険証・受診券をご用意ください

※健診前日まで予約可能ですが、5月の健診は5月1日(金)までのご予約にご協力ください

5月 13日(水)

14日(木)

15日(金)

※前号のお知らせに日程の誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

●受付時間 8:30~10:30

●場 所 川副保健センター

要予約

(0952)37-3315

お問合せ 佐賀市健康づくり課 Tel 40-7281

無料自主上映会のお知らせ

夢を弾く
届けたい
こころの音色を

La Campanella ら・かんぱねら

佐賀・川副を舞台に、
人と人のつながり、家族の想い、
そして人生の再出発を描いた物語

製作配給委員会提供

「ら・かんぱねら」自主上映会 inKAWASOE

■日時 5月17日(日)

午前の部 9:30 上映(9:00 開場) 定員60名
午後の部 14:00 上映(13:30 開場) 定員60名

■場所 大詫間公民館 大会議室

■料金 無料(入場引換券が必要です)

・4月27日(月)から大詫間公民館で入場引換券を配布します(先着順・平日 8:30~17:00)

館長コラム

日差しが眩しさと新緑が美しく映える季節になりました。朝夕はまだ涼しく、日中は少し汗ばむほど、鳥の声にぎやかになり、たくさんの花が咲き始めます。▶2か月ほど前、選挙の投票所入場券に似たハガキが届きました。令和8年度高齢者バス優待乗車券とあり、中身は佐賀市営バスワンコイン・シルバーパス券購入申請書です。よく見ると令和8年3月31日現在で69歳以上が対象とあります。▶公民館では毎年3月にシルバーパス券の販売があり、公民館だよりでお知らせをしたり、販売する部屋の調整などシルバーパス券のお世話をしています。その無縁でまったく他人事のように思っていたシルバーパス券の対象者に今度からなるようです。この現実には頭の中は“が～ん”です。▶人が老いを実感するのは、歩いてつまずいたり、階段で息切れしたり、人の名前が出てこない、物忘れするなど様々ですが、シルバーパス券の案内は老いを実感させる一撃でした。▶大詫間には竹馬の友が数名います。若い頃、10名ほどが集まり三夜待をしていましたが、仕事や結婚を機に大詫間を離れる者もいて三夜待は自然消滅しました。▶その残った竹馬の友とシルバーパス券を使って佐賀んまちまで飲みに行くことになりました。めったに乗ることのない大詫間始発のバスに乗り、みんな年齢を忘れて気分は小学生の頃の遠足のよう、車内ではつい大声が出てしまいます。▶「年を取るのとは避けられない。だが、老いるのは心次第」、「老いたから遊ばなくなるのではなく、遊ばなくなるから老いる」、老いは心の持ちようということのようです。▶シルバーパス券で行く飲み会を「古希のバス会」と名付け、仲間を増やしていこうとなりました。旧交を温めるきっかけを与えてくれたシルバーパス券さん、“ありがとう”です。